

北海道短期大学

専修大学北海道短期大学ホームページ http://www.senshu-hc.ac.jp

代表電話番号
**0126
(63)4321**
代表FAX番号
**0126
(63)3097**

美唄クリーン作戦に協力

学生20人が参加

第一農場前～国道12号間 通学路を2班で分担



▲ 側溝のごみも分別しながら清掃



▲ 約1時間で通学路はきれいに

美唄市衛生協力会連合会が主催する「美唄クリーン作戦」が4月27日に行われ、学生20人が参加した。この活動は学生部が参加を奨励しているもので、専門科目「ボランティア活動」の単位の一部として換算される。

当日は風が強く、肌寒い天気となったが、第一農場前の道路から国道12号線までの通学路を2班に分担し、側溝に投げ捨てられた空き缶やペットボトルなどのごみを分別しながら丁寧に掃除し、約1時間で通学路はきれいになり、参加した学生は「きれいになり、参加した

正富名誉教授に瑞宝小綬章



4月29日に発表された「春の叙歎」、正富宏之名譽教授の生誕研究の第一人者として知られ、03年に

正富名誉教授は、タンチュウ保護調査連合の代表を務めるなど、長年にわたる活動が評価された。

正富名誉教授(元本学学長)が瑞宝小綬章を授けられた。

正富名誉教授は、タンチュウ保護調査連合の代表を務めるなど、長年にわたる活動が評価された。

「市民公開講座」3年目がスタート

地域交流・社会貢献へ



「みどりの総合科学分」市民や科目等履修生との交流、社会貢献を目的に開催されている。この講座は地域社会との交流、社会貢献を目的に開催されている。この講座は地域社会との交流、社会貢献を目的に開催されている。

「みどりの総合科学分」市民や科目等履修生との交流、社会貢献を目的に開催されている。この講座は地域社会との交流、社会貢献を目的に開催されている。

「森林を守るということ」と題した岡田稔准教授の講義を聞く受講者たち

「森林を守るということ」と題した岡田稔准教授の講義を聞く受講者たち

5月	24日	河川を守るということ	布川雅典准教授
	31日	野菜の来た道 第3弾夕張メロン編	溝延学教授
	7日	安全な土木構造物を造るには	三上敬司教授
6月	14日	自然環境の維持管理に貢献する農業、農村のあり方	三川幸男教授
	21日	おもしろい農業技術	成田保三郎教授
	28日	まちづくりにおける公園の位置づけを考える	小林昭裕教授
7月	5日	花き研究の実際	久保崇准教授
	12日	中国の土壌	新家憲名誉教授

障がい乗り越えた豊富な練習量

長させてくれた監督やコーチ、チームメートのみんなに感謝し、優勝を指します」と意気込み。

6月26日(土) 14時から 会場 本学キャンパス

在学のご父母を対象とした父母懇談会を春・秋の2回、開催します。



▲ 3号館から見た残雪の樺戸山系 ▲ エゾムラサキツツジなどが一斉に咲き始めた



みどりの総合科学科で一段階として5月14日、は、1年次生全員を対象に3つの専門系について理解することを目的として、道内各大学のサクラとツツジの名所である美唄市内の東明公園を訪れた。学生たちは、岡田稔准教授の説明を受け、桜の種類や生育環境などを観察した。写真。樹木に対する理解を深めただけでなく、今後の「所属する系の決定」のための一助とした。

専修大学北海道短期大学 学生募集停止のお知らせ

専修大学北海道短期大学は、平成23年度から学生募集を停止することといたしました。専修大学北海道短期大学は、北海道出身の専修大学校友と地元美唄市の強い要請を受け、昭和43年に専修大学美唄農工短期大学(農業機械科・農業土木科・農業経営科)として開学いたしました。当時、開拓百年を迎える北海道に農業近代化の先駆者たる若者を育成する斬新な農業工学関係の高等教育機関を設けることが設立の理念でありました。その後、教育の多角化を図るため、昭和48年に校名を専修大学北海道短期大学と改名し、造園林学科・商科・経済科を増設するなど自然科学系と社会科学系の二系統からなる総合短期大学として発展を遂げてきました。この間に社会へ送り出した卒業生は1万1千名を超え、本短期大学に対する美唄市のご期待にも応えてまいりました。しかし、わが国における少子化の進行や4年制大学への志向の高まりによる短期大学志願者の減少は、本短期大学にも深刻な影響を与えております。本短期大学は、かかる厳しい環境を乗り越えるため、平成18年度には理系学科と文系学科をそれぞれ1学科に再編し、社会及び地域の多様な教育ニーズに柔軟に対応することを可能とする先進的な教育改革を行うとともに、美唄市にも学生募集についてご協力を頂くなど、様々な施策を講じ努力してまいりましたが、入学する学生数の減少を止めることができず、将来にわたって教育研究を継続することが困難になってまいりました。このような決定に至りましたことを深くお詫び申し上げます。今後、在学学生の皆様の教育及び進学・就職支援等につきましては、これまで通り万全を期して臨んでまいります。在学学生・卒業生及び保護者の皆様、その他学校関係者並びに地域の皆様のご厚情に心から御礼申し上げますとともに、学生募集停止に至りました事情をご賢察いただき、今後ともご協力とご鞭撻をお願い申し上げます。

平成22年4月23日 専修大学北海道短期大学 学長 寺本 千名夫